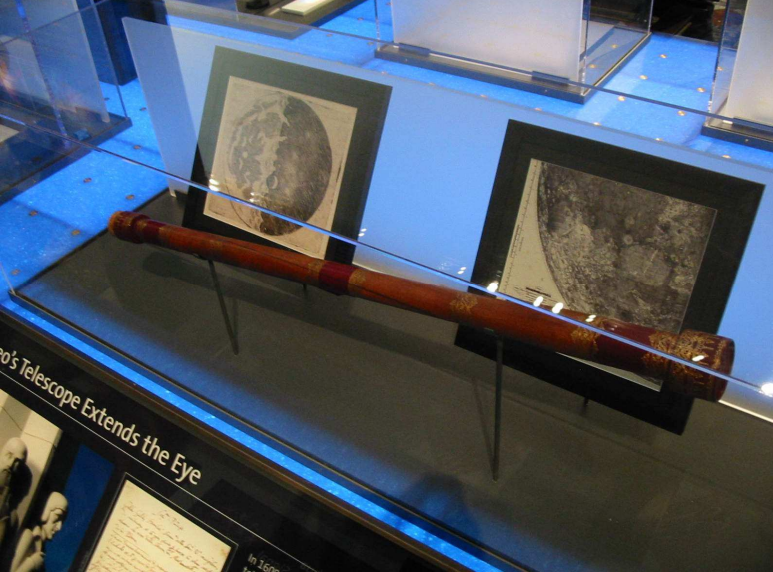


ガリレオ(1564年-1642年)の望遠鏡

ガリレオはオランダで1608年に望遠鏡の発明特許について知ると、1609年5月に一日で10倍の望遠鏡を作成し、さらに20倍のものに作り変えた。これを用いて1609年、月に望遠鏡を向けて見たガリレオは、月面に凹凸、そして黒い部分(ガリレオはそこを海と考えた)があることを発見した。また、翌年の1610年1月7日、木星の衛星を3つ発見。その後見つけたもう1つの衛星と併せ、これらの衛星はガリレオ衛星と呼ばれている。それから4世紀の間に、地上からの観測で更に9個(合計13個)の衛星が発見された。1979年にボイジャー1号が3つの衛星を発見し、衛星の総数は16個となった(1975年に発見されたが、のちに見失われたテミスを含めれば17個)。

ガリレオの望遠鏡



2400円の望遠鏡



ガリレオ衛星の動き

